

2025年度 4月第10回定例理事会議事録

日時: 4月28日(火)16時より

会場: 日本人会事務局およびオンライン

出席者: 富江、小和野、佐藤、松浦、今津、小林、関根、時任、野口、ペレス麻衣、前田、宮森、山田、小林(芳子)

開会挨拶と今後のスケジュール

富江会長による開会挨拶が行われ、理事会が台風の影響で1週間遅れでの開催となったことが説明されました。今後5月・6月で理事会が終了し、あと2回の開催予定であることが述べられました。また富江会長が春祭り当日に病院にいたことを謝罪しました。野口さんが代理を務めてくれたことに感謝を表明しました。

教育部報告

教育部から2025年度のJIAG委員会実績が報告されました。収入99万797ドル、費用85万3138ドル、運営収支プラス5万7000ドル、当期損益マイナス29万6100ドル、キャッシュフローベースマイナス5万6300ドルとなりました。計画との差異についても詳細な説明がありました。

また4月末時点の生徒数が報告され、幼稚部20名、全日制34名、補修校60名(プラス4名)となりました。2026年度JIAG理事会外部有識者理事の立候補募集結果として、定員4名に対して4名の立候補があったことが報告されました。

6月7日のチャリティゴルフについて第2回メール配信を実施したことが報告されました。理事への参加呼びかけと、祭りの余剰グッズ等の活用が依頼されました。また、台風4号で被災したサイパン補習校の生徒受け入れ支援についても報告されました。

青年部報告

青年部から春祭りへの協力に対する感謝が述べられました。台風の影響で収支報告がまだ完成しておらず、来月の理事会で報告予定となりました。次回の春祭り実行委員会の日程が5月12日から26日に変更されました。

文化商工部報告

春祭りで初開催されたアートクラフトブースについて、全体的には好評だったものの、既製品販売による集客の偏りという課題が報告されました。

7月の慰霊祭のスケジュール調整開始と、GCWCを通じたサイパン支援についても報告されました。

渉外広報部報告

3月分の更新6件と春祭り関連掲載が報告されました。SNSでは56件のストーリーズと26件の投稿を行いました。フォロワー数が335人増加しています。

総務部報告

深刻な会員減少問題が報告され、法人会員12社、個人会員6名の減少で会費収入が2万6000ドル減少しました。選挙管理委員会の発足について、理事4名と外部3名の構成で5月初旬に立ち上げることが決まりました。

サイパン支援募金の議論と決議

台風で被災したサイパンの日本人会・日本人学校補習校への支援について活発な議論が行われました。最終的にグアム日本人会から1000ドルの見舞金を送ること、募金を募り、サイパン日本人会に寄付し、寄付金に関してはサイパン日本人会に緊急性重要性の高いものに活用いただくことが決議され、佐藤副会長が直接手渡しすることになりました。

行動項目

佐藤副会長がサイパンに1000ドルの見舞金を持参し、木曜日から日曜日にかけて訪問する。

宮森さんがPayPalを使った追加募金システムの立ち上げを検討する。

時任さんがサイパン日本人会とクラウドファンディングについて相談する。

春祭り実行委員会の日程を5月12日から26日に変更する。

小林さんが高木さんに選挙管理委員会外部委員の推薦を依頼する。

権田さんに選挙管理委員会外部委員への参加を打診する。

芳賀さんの休暇期間中(5月4日-19日)の業務を天畠さんが引き継ぐ。

会費未納法人へ催促を継続する。

チャリティゴルフで祭りの余剰グッズなどを活用する。

慰霊法要のスケジュール調整を総領事館と開始する。